

番組審議委員会議事録

1. 開催日時 平成 23 年 11 月 24 日(木) 16:00～

2. 開催場所 宮崎サンシャインエフエム 会議室

3. 委員の出席

委員 総 数： 9 名

出席 総 数： 6 名

4. 議 題

- (1) 自主制作番組（フェニックスの木陰）について
- (2) 要望・課題
- (3) その他

5. 議事の概要

自主制作番組について

6. 審議の内容

社長の挨拶の後、現在の番組について、審議して頂きました。

<11 月 番組審議委員会>

局側

社長挨拶 ～

（番組同録を聴く）20分程

～デモ終了後～

質疑応答

- ・この番組のターゲット層は？ → 弊社での考えは、同世代の方々には、当時を振り返って頂く、

若き世代に関しては観光宮崎の歴史を振り返るので過去の歴史を知っていただきたいとの考えのため、20代後半より60代後半までを広くターゲットにしている。

・この番組は宮崎の偉人「岩切章太郎」さんに的を絞っていますが、まだまだ宮崎の偉人はいらっしやるので他の偉人を取り上げてみるのも視野に入れてみては？ → これからの課題である。検討致します。

・聴いていて楽しいし勉強になる番組だと思う。宮崎が今必要なこと、この番組を通して現代でもてなしやようこそ！の形をどう表していくのかを考えさせられる。

・自治体と一緒に原点にもどって町づくり、町おこしを考え直したい。

・同世代の人間が聴く分には非常に楽しく聞ける番組であるが、若い世代にとってはどうなのか？

→ 確かに、ききずらいかもしれない。だからこそ心にとまるような番組のクオリティが求められる。

・この番組は「岩切さん」の自慢話や成果だけの感想で終わってほしくない。

・自分が聴きたいところは、成果をあげた偉人が、具体的にどう成功につなげたのか、を具体的に知りたい。となると、聞き手のナビゲーターの力量が求められる。

・若いターゲットに聞いていただく為の適度な時間が30分だろうか？ → 現状、話す内容を深掘りすればするほど、時間が少ないと感じるが、若い層の聞く側のことを考えると今の尺の長さがベストだと考えている。トークの間に1曲挟むようにして、曲間をブレイクタイムとしている。

・番組の尺自体は30分番組ということですが、あつという間の間隔でした。

・歴史に残る偉人の話をできる人間が少なくなっている。このような形で語り継がれていくといい。

・語り継いでいく・・・という観点から今後構想していることはありますか？ → この番組を宮崎の教育現場に教材という形で生かすことができないかを考えている。

・曲の選曲は？ → この番組のコンセプトが「宮崎の偉人 岩切章太郎さん」の意思を受け継いだ渡辺さんをパーソナリティに迎えてご活躍された当手を振り返り、「観光宮崎」を見つめ直すという番組なので、当然現代の楽曲を選曲せず、当時の楽曲を取り入れて制作している。

社長) たくさんの意見を頂きありがとうございます。

今後皆様の意見はスタッフにも伝達し十分に改善をしていきます。

本日はお忙しい中ありがとうございました。

7. 審議委員会の答申・意見につきましては、審議委員会の当日及び翌日以降にスタッフに伝達しています。

8. 審議委員会の答申・意見の概要は、弊社事務所内の掲示板に掲載してスタッフ及び見学者にも閲覧出来る様に公表していきます。

9. 弊社ホームページ上にも、公表していきます。